

## 第 197 回幹事会議事要旨

日 時 平成 26 年 7 月 25 日 (金) 13:30~18:15

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子

(第一部) 佐藤 学、大沢 真理、井野瀬 久美恵

(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生

(第三部) 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭、土井 美和子

---

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 山田 淳

(課長等) 吉住 啓作、檀原 均、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

## 審議事項等

- 1 冒頭、事務局の人事異動（事務局次長、企画課長）に伴う挨拶が行われた。
- 2 前回議事要旨の確認が行われた。
- 3 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 4 以下の公開審議が行われた。

(1) 提言「超高齢社会のフロントランナー日本：これからの日本の医学・医療のあり方」について、臨床医学委員会老化分科会の大島委員長及び荒井幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。

(2) 提言「農林水産業への地球観測・地理空間情報技術の応用—持続可能な食料生産と環境保全—」について、農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学分科会の野口委員長及び齊藤幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。

(3) 提言「医学教育における放射線の健康リスク科学教育の必修化」について、臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会の神田幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。

(4) 提言「震災復興原則を踏まえた環境政策・環境計画の新たな展開」について、環境学委員会環境政策・環境計画分科会の花木副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。

(5) 報告「東京電力福島第一原子力発電所事故によって環境中に放出された放射性物質の輸送沈着過程に関するモデル計算結果の比較」について、総合工学委員会原子力事故対応分科会の柴田幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。

(6) 報告「数理科学と他分野科学・産業との連携」について、数理科学委員会数学

分科会の楠岡委員長より説明があり、審議の結果、報告（案）の扱いについて、会長において第三部と相談の上、検討することとなった。

- (7) 提言「ビッグデータ時代における統計科学教育・研究の推進について」について、数理科学委員会数理統計学分科会の竹村委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。
- (8) 提言「社会的包摂：レジリエントな社会のための政策」について、社会学委員会・経済学委員会合同包摂的社会政策に関する多角的検討分科会の阿部副委員長及び大沢委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第一部の確認を得ることを条件に承認した。
- (9) 提言「これからの労働者の心の健康の保持・増進のために」について、基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会の川上委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
- (10) 平成 26 年度代表派遣に係る配分計画及び実施計画の変更を決定し、実施計画に基づく 7-9 月期の会議派遣者（追加 1 件）を決定した。
- (11) 7 件のシンポジウム等の開催、1 件の国際会議及び 2 件の国内会議の後援を決定した。
- (12) 「第 22 期における分科会活動の総括結果について」を承認した。
- (13) 科学研究における健全性の向上に関する検討委員会運営要綱の一部改正（新規設置 1 件）及び分科会委員（1 分科会）を決定した。

○新規設置

・科学研究における健全性の向上に関する委員会 研究健全性問題検討分科会

- 5 その他事項として、第 168 回総会及び今後の幹事会開催日程について確認が行われた。また、会長から記録「Future Earth 持続可能な地球社会をめざして」の公表について説明があった。
- 6 以下の非公開審議が行われた。
  - (1) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。
  - (2) フューチャー・アースの推進に関する委員会における委員（特任連携会員）を決定した。
  - (3) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。
  - (4) 科学研究における健全性の向上に関する検討委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。
- 7 非公開その他事項として、大西会長から「第 12 回産学官連携功労者表彰日本学会会議会長賞」の決定について報告があった。